



白バラ牛乳
大山乳業農業協同組合

酪農だより

Vol.
691

令和元年8月号

あなたへ贈る「白の一滴、心の一滴」～酪農家の心を食卓へ～

今月の特集

創立73周年 大山乳業の「想い」のバトン

現場潜入

大山まきばみるくの里へようこそ!

各種活動レポート

指導課通信

大山乳業農協からのお知らせ

酪農者伯



創立73周年 大山乳業の「想い」のバトン



全国から寄せられる 温かい言葉の数々

「懐かしい」「至福」「親近感」「安心」
「信用」「誇らしい」「贅沢」「自慢」。

この言葉は全て大山乳業農協のホームページアンケートに寄せられたお客様のコメントの言葉です。

寄せられるアンケートは1ヶ月で約260件。製品の感想や製品に纏わるエピソードを綴ったものから厳しいご意見まで様々ですが、アンケートの多くが応援の言葉で溢れています。

毎月全てのアンケートに目を通し、その中の一部を機関紙「酪農だより」にお客様からの声として紹介しています。最近では関東や北陸のお客様からのお声も多く届くようになり、白バラファンの広がりを感じます。

ものが溢れていると言っても過言ではない現代。消費者は何を基準に商品を選ぶのか、そして企業は消費者にどのように映っているのか。その答えは毎月届くお客様からの声にあるのではないかと感じました。

今回は、多くの白バラファンに愛される大山乳業農協を作った32人の先人の志と、それを守り伝えてきた歴代の組合長の言葉から大山乳業農協が大切にしてきた「心」は何か、当時の資料から読み取ってみたいと思います。

この地に花を咲かせた 小さな「想い」の種

多くの人と声が行き交う大山乳業農協。鳥取県琴浦町の本所工場には約400人の従業員が働いています。

大山乳業農協の始まりは戦後疲弊最中の昭和21年7月21日。32人の酪農家が思い描いた「農民自らが出資して、牛乳の生産、処理、加工および販売の一貫体制を築き、組合員の利益擁護を図る」を基本理念とした伯耆酪農組合の設立からでした。この地で小さな芽が芽吹いた瞬間でした。

当時の大山乳業農協記念誌のページを捲ると、その頃の写真や大山乳業農協のようす、そして組合長の想いに触れることが出来ます。

そこには、それぞれの時代の困難に向き合った歴代の組合長と、それを支えた先人の「想い」がありました。

仲間と共に掲げた基本理念は 大山乳業農協の心

種をまき、芽が出ても順調に花を咲かせるとは限りません。

創立30周年記念誌には、初代組合長を務めた桑本氏の印象的な言葉がありました。

「大山乳業農協同組合の歴史を振り返れば、それはそのまま本県酪農発



1 2



3 4



1. 酪農組合の建物(昭和 25 年)
2. 設立当時、桑本組合長を囲んで(昭和 26 年)
3. 当時の牛乳瓶製造ラインのようす
4. 当時の白バラシュークリーム製造のようす
5. 大山乳業農協とお客様を繋ぐ製品
6. これからさらに大きな花を咲かせましょう



5 6



展の歴史であり、感無量のものがあります」

その言葉は、多くの苦難を乗り越えた事への桑本氏の溢れ出る想いのように感じました。当時、桑本氏を副組合長として支えた入江氏は創立25周年誌に、「桑本氏はどんな反対を受けても、農民の農民のためのという理念を終始一貫崩さなかった」と書いておられます。組合員と共に苦楽を共にし、設立当時は率先して足踏み式打栓機を踏み、バターチャーンを回したという思い出も書かれていました。

昭和21年に酪農組合が発足後、同組合は農業法人「酪農農業協同組合」として認可を受け、大阪と米子に販社を設立。さらに昭和39年には第1回朝日農業賞を受賞します。次第に小さな芽はスクスクと成長し、昭和41年3月1日、大山乳業農協が発足という蕾を付けました。

変化する時代の中で 変わらない想いが道標

桑本氏が組合長を退かれてから現在に至るまで約47年。時代が変わり、社会が変わり、商売の仕方が変わっても、大山乳業農協の基本理念は常に重要な局面で道標となっていたことが窺えます。

経済情勢が激変した時代に第二代組合長 入江氏は「組合員の心を心とし、役職員が一丸となつて、一番大切なものを守りぬぎ、さらに大きく育て、次々と伝えてゆく」とされ、バブル経済破綻の時代には、第三代組合長 中原氏の「大山乳業には50年の伝統と、蓄積されたノウハウがあります。白バラ製品を愛用していただいている沢山の消費者があります。それに加えて、組合員1人1人の組合を思ふ心、組合と共に生きて行こうというすばらしい心があります」と消費者と大

山乳業農協の絆を伝えられました。

さらに、先行きが不透明な時代には、第四代組合長 幅田氏が「こんな時は、先人の苦労や経験に学び、新たな道標を模索し、80年、100年へと続く組織を目指していかねければ」と組合を率いました。

そして今、その蕾は白いバラを咲かせています。鳥取の生乳の良さが全国各地に広がり、白バラ製品ファンが全国各地に増えました。地元では自慢の牛乳と言われ、鳥取の誇りだといわれる程です。県外で暮らす鳥取県出身者にも白バラ製品を届ける事ができるようになり、あのトラックを見ると鳥取を思い出すと言われます。

第五代目の小前組合長は以前、酪農だよりの取材で、「良さをわかって、待っていてくれる人に届けたい。良いものを待っていてくださるお客様がいる」と言っておられました。どんな

時代にも大山乳業農協には、白バラ製品を愛してくださる多くの人の存在と共にある事を改めて感じました。

大きな大輪の白バラを 未来へ咲かせる

先月のホームページアンケートの中にこんなコメントがありました。

4人のお子様を持つ広島県の方からは、「子ども達が大山乳業の製品が大好きです。長男は酪農家を目指して農業高校に入学しました」と。また、鳥取県の若者からは、「いつかここで就職して、私もいい商品を作ったり、白バラ牛乳をたくさんの人に広めたりして、貢献したいです」とありました。

未来に沢山の大きな白バラを咲かせるために、私達が新たな時代へ想いを繋ぐときが近づいている。そう思いました。



大山まきば みるくの里へようこそ！

家族で大山に行くなら
大山まきばみるくの里



今回潜入した現場は、大山乳業農協が運営する「大山まきばみるくの里」。後方には大山山頂、麓には日本海という絶好のロケーションに、国内だけでなく海外からも観光客が訪れます。この日は梅雨明け間近の7月下旬。大山の麓の温度は33℃。差し込む日差しと暑さ、体にまとわりつくような湿気から逃げるように出発しました。大山まきばみるくの里までの道は、自然の木陰も多く、葉が太陽の光を透かして透き通る緑に囲まれます。出発して車で約1時間。放牧場で草を食む牛達に迎えられ到着です。車のドアを開けると麓とは違い心地よい風が印象的でした。いよいよ大山まきばみるくの里へ潜入です！

料理と景色で
お腹も心も大満足！



施設の中には、こだわりの牛乳・乳製品を生かしたメニューが楽しめるレストランと無煙ロースターで県内産の牛肉を楽しめるバーベキューキャビンがあります。

どちらの施設からも食事を楽しみ



1 2



3 4



1. 素敵な景色が出迎える「大山まきはみるくの里」
2. レストランのオススメ3品
3. 秋の観光なら、みるくうどんもいかがですか？
4. 売店ではスタッフが笑顔のおもてなし
5. 工房のようす（プリン作り）
6. 大山まきはみるくの里の絶品ソフトクリーム！



5 6



ながら自然豊かな景色が堪能できるというのも贅沢です。

今回は、レストランのおすすめメニューと、みるくうどんをご紹介します！

【パ・ス&ママス】

紅ズワイ蟹のかにクリームコロッケ・海老フライ・ステーキ・みるくポトフのワンプレート。中でもみるくポトフは柔らかい牛肉と野菜、牛乳のコクがマッチした優しい味でした。

【紅ズワイ蟹と県産野菜のパスタ】

トマトと蟹のクリーミーなパスタは、蟹の身とアメリカーナソースの香りが口いっぱい広がります。

【みるくの里の特製ミックスピザ】

直径約26センチのボリウムに大きな具材とたっぷりのチーズが食欲をそそります。持ち帰りも出来るのでレストランで食事をした帰りにお持ち帰り用に注文される通の方もいらっしゃるのか。

【みるくうどん】

珍しいネーミングが気になり注文。運ばれてきたのは白い出汁のうどん。まるやかなコクの中に、牛乳の優しい味がしてきます。乳和食の要素も感じるメニューでした。これから夏の季節は提供がないそうですが、9月からはメニューに登場するそうなので、秋の観光の際には是非。

この他にも、お子様メニューも充実しており、レストランには家族連れの姿も多く見られました。

今回紹介したメニュー以外にも大山乳業農協の牛乳・乳製品を使ったメニューが沢山。グループでシェアして食べるのもオススメです。

目移りするお土産と人気のソフトクリーム



売店には、白バラ牛乳を使ったお土産

製品の他にも、地元メーカーのハムやお酒、牛グッズなどが所狭しと並んでいます。

歩いてみると、知らなかったお土産や気になるお土産に度々足が止まり、目移りしてお土産選びには苦戦しそう。おすすめを聞いてみると、1番人気はソフトクリームサンドクッキーでカントリーマム白バラコーヒーなども売れ筋とのことでした。迷ったら売店スタッフに売れ筋を聞いてみてくださいね。そして、大山まきはみるくの里で有名な「ソフトクリーム」！しかし、このソフトクリームは写真撮るのが一苦労。なんといっても溶けるのが早いです。

写真を撮る際は、撮影場所を決めてから受け取る事をお勧めします。その場所・その瞬間しか味わえないという特別なソフトクリーム。多くの人の印象に残る理由がわ

かった気がしました。

手作り体験や芝生広場で心ゆくまで楽しむ



大山まきはみるくの里には、この他にも予約制でバターやアイスクリームの手作り体験を行っている他、子ども達がたくたになるまで遊べる広い芝生広場も人気の理由の1つ。

そして何より、スタッフがお客様と程よい距離感を保ちながらも、常に気配り目配りを欠かさない細やかな接客に居心地の良さを感じ、ついつい長居してしまいました。

おいしい料理を食べて心行くまで遊んで、お土産と楽しい思い出を持って帰る特別な1日をぜひ大山まきはみるくの里でお過ごしください。スタッフ一同、皆さんのご来場を心よりお待ちしております！

京都生協・コープしが組合員とキャンプで産直交流

鳥取市のCOP美敷牧場で、京都生協「もももキャンプ」・コープしが「サマーキャンプin鳥取」が開催されました。

京都生協より2班（7月27日～7月28日、7月31日～8月1日）95名、コープしがより1班（8月3日～8月4日）40名の生協組合員が家族連れで参加し、1泊2日の日程でキャンプを楽しみました。

道中のバス車内には京都営業所の職員が同乗し、牛や牛乳に関するクイズを出題したほか、大山乳業農協と生協の産直の取り組みについて映像資料を鑑賞し、産直交流について理解を深めました。

鳥取県畜産農協では、産直牛入りのカレーライスを食べ、食肉の加工現場を見学し、枝肉の大きさに驚きの声が上がっていました。

キャンプ場到着後はテント張りをし、バーベキューでの夕食交流や、キャンプファイヤーを囲んで参加者全員と一緒にフォークダンスや歌で盛り上がりました。

ふれあい研修館では、アイスクリーム作り体験や、生産者との意見交換など

どの交流を行ったほか、『みるく鍋』や『牛肉まぜご飯』が2日目の昼食にふるまわれました。

どの日程も天候に恵まれ、たいへん暑い中でのキャンプとなりましたが、参加したお子さんは、普段は体験できない子牛の餌やりや昆虫採集、スイカ割りなど楽しんでいるようすが印象的でした。

参加された方からは、「食事がどれも美味しかった」「スタッフの皆さんの対応がとても親切で良かった」「生産者の方と交流出来て良かった」といった声が上がっており、充実した内容の産直交流となりました。



鳥取県畜産農協の見学



感謝の色紙渡しの様子



子牛の餌やり体験



キャンプファイヤーの様子

令和元年度 鳥取県牛乳協会会長表彰

7月12日（金）琴浦町いわみ会館にて、鳥取県牛乳協会会長より牛乳処理事業、牛乳処理業界の指導育成に功労・功績のあった会員職員7名への表彰式が執り行われました。

この度の表彰式には6名が参加し、小前協会長より表彰状、記念品が授与されました。

【受賞者】

山本 文彦
市村 満栄
倉本 健吾
種子 直記
中川 美香
菊本 明恵
入江 誠司
(敬称略)

◆写真(右)表彰式に参加された受賞者の皆さん
◆写真(左)表彰式の様子



第4回 味覚は鍛えるもの

品質管理部門の業務の1つに出荷前製品の官能検査があります。簡単に言えば「味見」です。

官能検査は品質管理部門だけでなく、生乳の受け入れ時から製造途中、そして製品になった後まで多くの人が行います。各部門の検査で問題ないと判断され、ようやく出荷できます。また、開発や企画に携わる部門も、直接製品を官能検査することはなくても、試作過程の中で何度も官能検査を行っていることになります。

このように食品メーカーの一員である私達にとって確かな舌を持つことは大切なことなのです。

そこで私達は月に1回官能検査講習を受けています。官能検査講習では、人の舌で感じると言われている五味(甘味、酸味、苦味、塩味、旨味)と、牛乳の異常風味(ランシッド臭、酸化臭、大豆臭)の講習があります。方法は、五味や異常風味をわずかに付けた牛乳のサンプルと何も加えない牛乳のサンプルをランダムに置き、どの検体がどの味(または異常風味)かを当てるといふものです。

受講当初、私はなかなか判別できず時間がかかっていました。それでも講習を繰り返し受けている内に短時間で判断できるようになりました。

聞くとところによると、人の味覚は鍛えれば磨かれるのだそうです。とはいえ、まだまだ酸味と大豆臭に悩まされている私ですが…。いつの日か酸味と大豆臭も確実にわかる日が来ると信じてこれからも訓練していきたいと思っています。



どちらもオススメです

これから夏の暑さもピークを迎え、冷たいものを摂る機会が増えると、胃腸が弱りがちですが、皆さんも毎日ヨーグルトを食べて元気に夏を乗り切りましょう!!

J A 鳥取県人権・同和問題対策推進本部からのお知らせ

J Aグループ鳥取では人権・同和問題に対して「第7次(2018～2020年度)J A鳥取県人権・同和問題対策推進方針」をもとに、差別と偏見のない社会の実現のために取り組んでいきます。

組合員の方はもとより、地域住民の方にも人権・同和問題が身近な存在であることに気づいてもらうため、第7次(2018～2020年度)の期間中、人権・同和問題に対する啓発記事を年4回連載します。

第16回「SDGsと人権」

SDGs(エス・ディー・ジーズ)という言葉をよく見聞きするようになってきました。新聞にも最近よく出てきますし、研修会のテーマで取り上げられたりもしています。

2015年9月、国連で「我々の世界を変革する…持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択され、その中で掲げられた17の目標がSDGs(持続可能な開発目標)です。17の目標のもとには169の具体的な「ターゲット」が設定されており、その達成に向けて、世界でも国内でもさまざまな取り組みが進められています。

SDGsの内容はどれも「人

が生きること」と関連しており、人権尊重の考え方がベースにあります。前文で謳っている「誰一人取り残さない」はそれを象徴しています。そして「誰一人取り残さない」というSDGsの原則は、協同組合の理念とも重なります。

誰一人取り残さず人権を保障するには、弱い立場に立たされたり、見落とされたり、周りに追いやられたりされがちな人たちへの視点が欠かせません。1人1人が自分のこととして考え、様々な立場にたった目線で行動していくことが、持続可能な地域のより良い暮らし、仕事づくりに貢献できるのではないのでしょうか。

※「アジェンダ」とは「行動計画」や「政策課題」といった意味です。

労働安全衛生大会を開催しました

7月31日(水)、職場における労働災害防止活動の重要性を再認識することを目的に、労働安全衛生大会を開催しました。

大会では、安全衛生コンサルタントの田岡先生をお迎えし、「安全には特効薬も近道もない。」と題して、防災の未然防止について講演をいただきました。(写真は大会のようす)



私のオススメ

今回の「私のオススメ」コーナーは平野専務です。おすすめのヨーグルト2品を紹介して頂きました。

私のおすすめ商品は、「白バラヨーグルト生乳100」と「白バラヨーグルト脂肪ゼロ」です。

ヨーグルトは、グラノーラと一緒に毎日欠かさず食べており、生乳100と脂肪ゼロを交互に食べています。

ヨーグルトには整腸作用や免疫力強化、美肌効果など様々な効果が期待できるため、継続的に食べる事が大事です。

これから夏の暑さもピークを迎え、冷たいものを摂る機会が増えると、胃腸が弱りがちですが、皆さんも毎日ヨーグルトを食べて元気に夏を乗り切りましょう!!

公益財団法人 鳥取県畜産振興協会 乳用牛放牧預託牛成績状況報告

単位：頭 令和元年7月31日現在

牧 場 名		区分	頭数	内 訳									
				育成牛	種付け対象牛			未種付	妊娠牛（月齢）				
					うち種付中	うち妊鑑待ち	17以下		18～20	21以上	妊娠牛中のET		
鳥取放牧場		乳牛	475	248	145			105				40	40
		割合（%）	100	52	31	22	8	8	17	50	35	15	27
鳥取放牧場計		乳牛	475	248	145	105	40	40	82	41	29	12	22
		割合（%）	100	52	31	22	8	8	17	50	35	15	27
大山放牧場		乳牛	476	195	129	85	36	44	152	47	82	23	27
		割合（%）	100	41	27	18	8	9	32	31	54	15	18
俵原牧野		乳牛	134						134	15	88	31	
		割合（%）	100						100	11	66	23	
大山放牧場計		乳牛	610	195	129	85	36	44	286	62	170	54	27
		割合（%）	100	32	21	14	6	7	47	22	59	19	9
総 計		乳牛	1085	443	274	190	76	84	368	103	199	66	49
		割合（%）	100	41	25	18	7	8	34	28	54	18	13

※1 種付けは、13ヶ月以上、体高127cmで実施

※2 妊娠牛月齢の割合及び妊娠牛中のETの割合は、それぞれ妊娠牛中の割合

ET実績（乳牛）

※実施数、受胎率は鑑定済みのもの

年月	実施数	受胎数	受胎率
H30.06	34	15	44%
H30.07	36	15	42%
H30.08	34	13	38%
H30.09	52	29	56%
H30.10	61	30	49%
H30.11	58	33	57%
H30.12	37	21	57%
H31.01	37	18	49%
H31.02	59	27	46%
H31.03	57	27	47%
H31.04	29	13	45%
R01.05	38	18	47%

AI実績（乳牛）

年月	実施数	受胎数	受胎率
H30.06	82	49	60%
H30.07	58	21	36%
H30.08	96	48	50%
H30.09	113	61	54%
H30.10	121	76	63%
H30.11	144	82	57%
H30.12	115	62	54%
H31.01	114	58	51%
H31.02	108	59	55%
H31.03	126	68	54%
H31.04	104	54	52%
R01.05	118	53	45%

令和元年7月分 生乳出荷量別生産者戸数

出 荷 乳 量	出荷戸数（戸）	
	令和元年	平成30年
100t 以上	12	12
80t 以上 100t 未満	4	5
60t 以上 80t 未満	7	7
40t 以上 60t 未満	14	13
20t 以上 40t 未満	27	28
10t 以上 20t 未満	28	24
10t 未満	19	30
計	111(+3)	119(+1)

輸入粗飼料の情勢

品 目	今後の改定要因			特 記 事 項
	品代	為替	フレート	
フレート			↑	今年1月から3月の中国発、米国向けの輸出貨物量は、前年と比較すると約1割減少している。この状態が続くと、今後米国内での空コンテナの不足が予想される。今後、米国内の空コンテナと航路毎の貨物量によってはオーダー通りの船積みができない可能性が出てくることも懸念される。2020年1月からの硫黄酸化物規制に対応した適合油について、現行のC重油と比べて値差はプラス200ドル/トンとみており、海上運賃にどの程度影響するか注目される。
ビートパルプ	↑	→	↑	日本向けの主力を担う、ミネソタ州及びノースダコタ州では他地域に比べる現時点の作柄は良好で、夏場の生育時期の天候が回復したことで、生育状況としては、昨年並みの水準に戻っている。新穀相場については、トウモロコシ相場、国内物流経費の増加、低硫黄燃料使用に伴う海上運賃のアップが今後反映されることとなり、値上げは避けられない状況と言える。
スーダングラス	↓	→	↑	7月15日時点の作付面積は前年よりもやや低く推移している。現時点までの作柄としては、色目が緑系のスタンダードカラーのものが中心となっている。茎サイズについては生育期の寒暖差の影響からややバラツキが見られ、細茎で揃った上級品の発生は例年よりも少ないようで、中級品の発生が中心となっている。現時点の相場は、米国産チモシーに引っ張られる形で、グレード問わず、昨年比弱含みでのスタートとなっている。
アルファルファヘイ	↑	→	↑	主産地であるコロンビアベースンでは、2番刈がほぼ終了している。高成分のプレミアム品はおよそ20%程度と言われている。産地相場は、1番刈に高成分の上級品が少なかったため、2番刈への需要は高まっており、1番刈と同程度かそれ以上の価格で取引されている。クラマスフォールズでは、7月上旬までに1番刈が終了し、2番刈の収穫が進んでいる。1番刈の作柄は、例年に比べて少なく良品が収穫されている。
USチモシー	↓	→	↑	1番刈の作柄は昨年に比べ良好で、茶葉の混入の少ない綺麗な上級品が多く収穫されている。一方、中級品は例年並みの品質である。産地相場は上級品から低級品まで昨年同時期に比べ弱含みで推移している。
カナダチモシー	↓	→	↑	アルバータ州南部レスブリッジ地区では7月上旬から1番刈の収穫作業が始まっており、終盤を迎えている。例年並かそれ以上に良品が発生している。アルバータ州中部クレモナ地区でも、7月下旬よりチモシーの収穫作業が始まっている。需要については、18年産の在庫は契約分在庫を除くと余剰在庫はほぼ無い状況である。米国産チモシーの相場の軟化を受け、昨年よりも安価になることが期待されるが、国内からの引き合いも強い。
オーツヘイ	↓	→	↑	2019年産オーツの生育状況は、順調な進捗のようだが、降水量はまだ例年を下回っている状況にあり、引き続き産地の生育状況を注視していく必要がある。昨年の早魃の影響から、国内からの引き合いが強く、産地相場は高止まりしており、昨秋の新穀開始時期よりも高値で取引されている場面もある。一方で、輸出向けについては、主要輸入国である日本および韓国では需要が減退している。今後のオーツヘイの日本国内の需要、豪州輸出価格の動向には注意が必要と言える。
クレイングラス	→	→	↑	産地インペリアルバレーでは、2番刈および3番刈でも早期に収穫されたものは色目も良く品質面は上々の仕上がりとなっている。日本および韓国からの需要は旺盛な状況が続いており、良品の産地相場については引き続き堅調に推移している。韓国からの需要はより良品のものへ移行してきており、良品以外の相場についてはやや軟化の傾向が見られる。
ストロー類	↑	→	↑	アニュアルライグラスストロー及びフェスクストローは6月後半から順次収穫が開始されてきた。これまでに3～4回の降雨があり、大きな被害が出ている。ペレニアルライグラスストローはバイオマスプラント向けの需要や、他のストロー類の降雨被害による需要の集中により、産地価格は連れ高になることが予想される。

第48回全国酪農青年女性酪農発表大会 開催

第48回全国酪農青年女性酪農発表大会が7月11(木)～12日(金)の2日間にわたり、城山ホテル鹿児島にて開催され、女性部、青年部、事務局の6名で参加をしました。

全国より酪農経営発表の部、酪農意見・体験発表の部でそれぞれ6名ずつの方が選ばれ、鹿児島県の地味で素晴らしい発表が繰り広げられました。

酪農経営発表の部では、「経営危機を乗り越えて」と題し発表された農事組合法人霧島第一牧場 池田雄太さん(九州酪農青年女性会議)が農林水産大臣賞を受賞されました。

発表では、経営改善のために

① 自給粗飼料の品質向上

② 飼料設計

③ 繁殖改善

④ 定期的な削蹄

の4点の改善を中心に取り組んだこと、さらに乳質へのこだわりや働き方改革についても話がされました。

また「チームワークで楽しくやりがいのある酪農経営をめざして」と題して発表された千葉澄子さん(北海道酪農青年女性会議)に、審査員特別賞が贈られました。千葉さんは、酪農経営だけでなく、女性農業者活躍のために「しゅちゃ農業女性力レッジ」を立ち上げ、塾長として頑張っておられる点が評価されての受賞でした。

酪農意見体験発表の部では、「地域の灯台目指して〜一家和楽の道〜酪農/宿命を使命に〜」と題し発表された佐藤純子さん(東北酪農青年女性会議)が最優秀賞を受賞され、とにかく元気で明るい佐藤さんの発表に聞いている人たちも元気づけられているようでした。

また「Stay dream(夢を持ち続けて)〜独自産業化への道〜」と題し発表された北村克己さん(中部酪農青年女性会議)に審査員特別賞が贈られました。北村牧場の経営理念を中心とした、力強い発表でした。

全国の酪友の発表に元気をもらい、交流を深めることができた2日間となりました。



会場のようす

K-1KRUSH王者 見貴選手表敬訪問

7月31日(水)、米子市出身のプロキックボクサーでK-1KRUSHバンタム級王者の見貴選手が大山乳業農協を訪れ、小前組合長を表敬しました。

見貴選手は今年1月に開催されたバンタム級王座決定戦に勝利し、第4代王者となりました。

小前組合長との対談で、見貴選手は「幼いころから白バラ牛乳を飲んで育ってきた。今の自分があるのは白バラ牛乳のおかげ。東京を拠点に活動しているが、向こうでも白バラ牛乳を買いたい求め愛飲している。」と白バラ愛を語りました。

小前組合長は、「鳥取県出身者がK-1王者となり、大変うれしい。これから白バラ牛乳を飲んで世界王者を目指してほしい。」と激励の言葉を送りました。

見貴さんには小前組合長から記念品が手渡され、表敬後は工場見学通路から白バラ牛乳が製造される様子を見学されました。



牛乳・乳製品利用 料理コンクールについて

牛乳普及協会から2019年度牛乳・乳製品利用料理コンクール作品募集のご案内です。

牛乳普及協会では、牛乳・乳製品を使用したオリジナルの料理・菓子・デザート作品を募集しています。応募資格は、調理師等料理を職としている方を除く高校生以上の一般消費者の方であれば、誰でも応募できます。誰でも短時間で簡単に出来るレシピアイデアを応募してみませんか？

応募の中から選ばれた10作品は、秋に鳥取短期大学で行われる県大会に出場できます。

あなたならではのオリジナル作品をお待ちしています！



【応募締切】

2019年8月31日(土)

※当日消印有効

応募方法等、詳しい募集内容につきましては、鳥取県牛乳普及協会「牛乳・乳製品利用 料理コンクール」係(TEL 0858-5310725)までお問い合わせください。



大山乳業農業協同組合 からのお知らせ

D a i n y u I n f o r m a t i o n

理事会だより

令和元年7月20日理事会
にて次の議案が決議されました

【7月20日提出議案】

- 第1号議案 上半期経営検討について
第2号議案 乳用牛放牧互助会規約の一部変更について
第3号議案 固定資産の取得について

異動辞令等

下記の方が退職されました
長い間ご苦勞さまでした

退職(令和元年7月10日付)

(所属及び役職) (氏名)
乳製品課 職員 黒川 真彦

退職(令和元年7月20日付)

(所属及び役職) (氏名)
検査課 職員 下津 沙織

退職(令和元年7月31日付)

(所属及び役職) (氏名)
物流課 職員 中原 純子

営業課

ローソンマチカフェで
「大山ラテ」提供中

7月23日から山陰エリアのローソンで発売中の大山ラテ。鳥取の方言で「よお冷えとります」というCMは印象的です。大山乳業農協の特選牛乳使用です。是非お召し上がりください。



総務課

大山乳業農協は
イクボス・ファミボスを応援!!

イクボス・ファミボスとは、子育てや介護をしながら働く部下の仕事と家庭の両立を応援するリーダー(上司)のことです。鳥取県では職場の環境づくりや人材確保、また就業継続支援を行い、「働き続けられる」職場を作るために県内企業のイクボス・ファミボスを増やす取り組みを行っています。

鳥取県男女共同参画推進企業の認定を受けている大山乳業農協も、この春「イクボス・ファミボス宣言」を行いました。

職場づくりは、上司だけでなく職員全員の理解や協力が必要です。

皆さんでよりよい環境づくりを進めていきましょう。



製造管理課

9月の工場見学開放Dayは
イベント盛りだくさん!!

次回の工場見学開放 Day は

2019年9月21日(土)

9:30 ~ 12:00 ※最終受付は 11:30 です

当日はカウイーも登場!!白バラほうじ茶オ・レの試飲やオリジナル塗り絵を準備して皆様のご来場をお待ちしております。組合員・職員の皆さんも是非ご来場ください。



ホームページ
からのお声



■白バラ牛乳がすごく好きです。スーパリーなどで大山乳業さんの商品を見つけると嬉しくなって買ってしまいます。最近ではシークリームがおいしかったです。(岡山県)

■いつも美味しくいただいています。1歳の息子も、「ぎゅーにゅー!!」と何度もお代わりを催促するほど好きです。(鳥取県)

■今は大阪に住んでいます。鳥取県出身で昔から好きです!特に白バラコーヒーが好きです!お土産で白バラ牛乳サブレも購入しましたが、みんなに好評でした!(大阪府)

■工場見学にも参加させて頂きました。大山乳業さんのこだわりを知ることができて、安全な牛乳を美味しく頂くことができます。(福井県)

■白バラコーヒーを初めて飲んだ高校時代の衝撃といたらもう、他のコーヒー牛乳を全く飲まなくなりました。(香川県)

■最近色々な商品を出されていて楽しいです。話題性だけでなく、県外の方にも自慢できる味や品質なのでそれが嬉しいです。先日カントリーマアムを台湾の方にプレゼントしましたよ!(鳥取県)

■大好きです。いつも新鮮な乳製品を供給してくださりありがとうございます。これからも美味しい商品を楽しみにしています!(滋賀県)



カウイーの エブリディ!

さく:福井チーフ え:堀江あかね

年齢不詳



編集後記

創立73年を迎えた大山乳業農協。時代や人が変わっても変わることなく守り抜いた想いをこれからも大切に、製品を届けます。創立100周年のその日が楽しみです。

酪農だよりに関するご意見ご感想は下記のメールアドレスまで

[email@dainyu.or.jp]

こちらのQRコードからもメールアドレスを取得できます▶



Dainyu-PICKUP!

限定30万本!!

「四十七大戦」が 白バラ牛乳をジャックします!

8月16日(金)出荷分より、30万本限定で、白バラ牛乳1リットル紙パックの広報欄が「四十七大戦」とコラボしています。

今回の広報欄は、10月24日(木)より始まる「舞台・四十七大戦」公演と、大山まきば祭で企画されている「舞台・四十七大戦」コラボイベントのPRを行っています。

こちらの広報欄の白バラ牛乳1リットル紙パックは、山陰エリア、九

州・四国・山陽・関西の一部エリア、関東エリア(成城石井、とっとりおかやま新橋館)で順次店頭へ並びますので、この機会にぜひ手にお取りください!!



Dainyu-PICKUP!

夏季限定

白バラ牛乳を使ったタピオカ 専門店が米子にオープン

8月10日(土)～9月16日(月)の期間限定で、米子市にあるダラズクリエイトボックス内に白バラ牛乳を使用したタピオカドリンク専門店「me cafe 米子」がオープンします。

店舗の運営をしているのは、大学生の遠藤みさとさん。商店街の地域活性化を目的に夏休みの期間を使ってオープンされました。

タピオカと組み合わせるドリンクに鳥取県民に馴染み深い「白バラ牛乳」を使い、黒蜜ミルク、白バラコー

ヒーや白バラほうじ茶オ・レなどメニューも豊富です。

遠藤さんは、若者のイメージがあるタピオカですが、年齢問わず沢山のの方にタピオカドリンクを飲んで頂きたいです。と意気込みを語ってくださいました。白バラ牛乳・白バラ製品を使ったタピオカドリンクをぜひ一度お召し上がりください



今回は、昭和49年11月20日発行の酪農だより第154号。京都生協祭の即売会場で2万個ものシュークリームを販売しようすを伝えています。



大山乳業「酪農だより」バックナンバーから当時の様子を覗いてみます

あの日・あの時

酪農だより vol.691



大山乳業農業協同組合

発行責任者/小前孝夫 編集責任者/平野 浩
印刷所/山本印刷株式会社 発行日/令和元年8月20日

〒689-2393 鳥取県東伯郡琴浦町保37-1
TEL.0858-52-2211(代) FAX.0858-53-1501
https://dainyu.or.jp E-mail:email@dainyu.or.jp